

【ニュースレター】
報道関係各位



2026 年 10 月 19 日

タリーズコーヒージャパン株式会社

木のぬくもりと豊かなコーヒーの香りに包まれるくつろぎの空間
「タリーズコーヒー ロースター 相模大野中央公園店」が 2026 年度グッドデザイン賞を受賞
～2026 年度ウッドデザイン賞とのダブル受賞～

タリーズコーヒージャパン株式会社(代表取締役社長:内山修二)は、ナイス株式会社(代表取締役社長:津戸裕徳)+ナイスユニテック株式会社(代表取締役社長:原口洋一)との共同プロデュースにおいて誕生した「**タリーズコーヒー ロースター 相模大野中央公園店**」(所在地:神奈川県相模原市)がこの度、公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2026 年度グッドデザイン賞」と一般社団法人日本ウッドデザイン協会が主催する「ウッドデザイン賞 2026」を、ダブル受賞しましたので、お知らせいたします。



■「タリーズコーヒー ロースター 相模大野中央公園店」について

当店は、タリーズコーヒーがこだわり続けている「最高の焙煎」を体現すべく 1 月にオープンした全国唯一のロースター併設店舗。ROASTER(焙煎士)が丁寧に焙煎を施した、限定のコーヒー豆を多数ご用意し、淹れたてのドリップコーヒーもご提供します。コーヒーが持つ個性が最大限に引き出された、ここでしか味わうことのできない特別な一杯をお届けしています。

また地域と連携し、タリーズコーヒーが掲げる「地域社会に根ざしたコミュニティーカフェ」としての役割を果たすべく、相模原市と子育て支援に関する協定を締結しました。店内でのイベントを通じて、身近な場所で気軽に参加できる子育てスポットとして賑わいを創出しています。また、野村不動産株式会社・JCOM 株式会社とともにエリアマネジメント運営組織を設立し、連携したイベント開催などを通じて、地域の活性化に努めている店舗です。

(参考: https://www.tullys.co.jp/company/pressrelease/2026/01/2026_roaster_sgmono.html)



■デザインのポイント

1. 大開口やテラス、木による建築で「森の中」にいるような心地よさを実現し、新たな賑わいを創出
2. アイコンとなるシャープな屋根形状と国産木材の外装で、明るく潤いに満ちた公園風景を再構築
3. 独自技術『凸凹 Gywood』を施した杉節有材を活用。新たな利用価値の提示で、国内森林の循環に貢献



■審査委員の評価

『Gywood』という木材を圧縮し強くする特殊技術を用いることで、耐久性のある外壁を生み出している。防災拠点としてのインフラの機能を備えている点も素晴らしいが、なによりも木造を選択した点が評価できる。

■グッドデザイン賞とは

1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<https://www.g-mark.org/>

■ウッドデザイン賞とは

ウッドデザイン賞(主催:(一社)日本ウッドデザイン協会)は木の良さや価値をデザインの力で再構築することを目的に、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究等を募集・評価し、表彰する顕彰制度です。(一社)日本ウッドデザイン協会(会長:隈 研吾、東京都千代田区、<https://www.jwda.or.jp/>)は木を活用した社会課題の解決をめざす取り組みを「ウッドデザイン」と定義しています。建築・空間、技術・建材、コミュニケーションの各分野で受賞し、木の力を生かした快適な暮らしや働く環境づくり、地域とのつながりの創出、ウェルビーイングの向上に寄与する取り組みが評価されました。

※画像はイメージです。※画像データが必要な方は下記までお問合せ下さい。

この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先:

タリーズコーヒージャパン株式会社 広報室 TEL:03-3268-8305 FAX:03-3268-8283 E-mail:pr@tullys.co.jp

この件に関する一般のお客様からのお問い合わせ先:

タリーズコーヒージャパン株式会社 お客様相談室 TEL:03-3268-8320 ホームページ:www.tullys.co.jp/